

# なかまの家大杉 エコバックニュース

R7.11



あ参準一流普てち当たなーま  
り加備日が段きび日。かおし  
がしをとででてっは。かまの  
とてしなききくこ小の  
うくてり、なれまろの中、  
ござされし変、しほう、  
い。た。た。充。地。た。う。大  
また、。実。域。の。さん。が、  
ま。方。皆。感。を。感。じ。の。訪  
た。々。様。を。感。じ。の。ね  
。大。当。日。た。交

R7年10月11日に催され

おつきみどろぼうとは、  
中秋の名月の時期に、子供たちが家の軒先や縁側に供えられたお供え物を盗んで回る、日本の伝統的な行事です。秋の収穫を祝い、豊作を願う農耕行事が起源とされています。  
子供たちは「月の使い」とみなされ、お供え物が盗まれると、その家は繁栄すると言伝えられています。現在では、子供たちが「おつきみどろぼうです」と言って家々を訪ね、お菓子などをもらう形で、受け継がれています。



お出迎いの看板をみんなで作りました



うさびょん、ドアからお出迎えです。

